

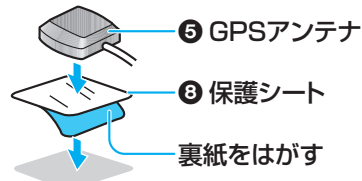
GPS アンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

車外に取り付ける（推奨）

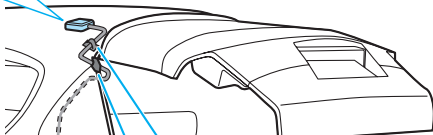
ルーフの平らな面に取り付けてください。



※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

車内に雨水が入らないようにコードを引き回す。

- ハッチバックの場合には、ドアの開閉でコードが引っぱられないように、コードを余分にたるませて引き回してください。



⑨ コードクランパー
コードの要所を固定する。



裏返す
防水ゴム(裏面)
裏紙をはがす
トランクのゴムパッキンに平行にあてる。

お願い

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。



コードをドライバーなど先のとがったもので押したりしないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

⑨ コードクランパー
要所を固定する。

お知らせ

- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(取扱説明書「ナビ編」)にご相談ください。

お願い

- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなったりする場合があります。

リヤビューカメラの取り付けかた HDS635RD・HDS625RDのみ

取り付ける前に

ナビゲーションの配線が完了してから、カメラ本体の取り付け・配線を行ってください。

- 事前に仮止めして、取り付ける位置を確認してください。貼りなおすと粘着力が弱くなります。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- 設置面の汚れ（ごみ、油、ワックス）などを市販のクリーナーなどできれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、5分ほど車内ヒーター、デフォグガー、ドライヤーなどで温めてください。

■しっかりと取り付けるために

- 取り付けたあと、24時間放置する
雨中を走行したり、引っ張ったりしないでください。(通常の走行は、さしつかえありません)
- 雨天時は野外で作業しない
ドライヤーなどで湿気を乾かしてください。

お知らせ

- フッ素樹脂処理された(水滴や泥水などをはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。

1 カメラブラケットを車体のガラス面または塗装面に取り付ける。

① 取り付ける面に合うように、カメラブラケットを整形する。(裏紙をはがさない)

② 裏紙をはがして、カメラブラケットをしっかりと密着させる。

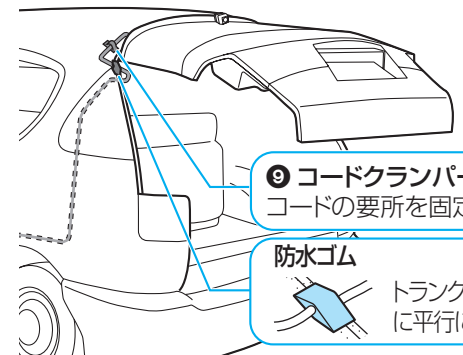


24 カメラブラケット

- 接着面に手を触れないでください。
- 貼りなおさないでください。

3 車内に雨水が入らないようにコードを引き回す。

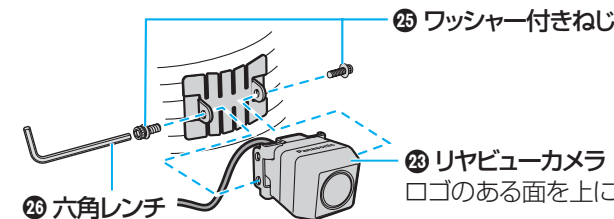
- ハッチバックの場合には、ドアの開閉でコードが引っぱられないように、コードを余分にたるませて引き回してください。



⑨ コードクランパー
コードの要所を固定する。

防水ゴム
トランクのゴムパッキンに平行にあてる。

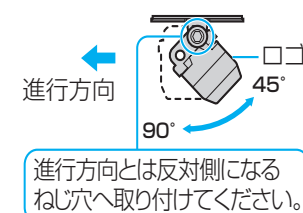
2 カメラ本体を、カメラブラケットに取り付ける。



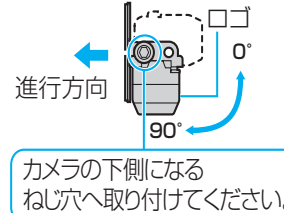
25 ワッシャー付きねじ

側面図

カメラを取り付ける位置により、使用するねじ穴と調整できる角度が異なります。



進行方向とは反対側になるねじ穴へ取り付けてください。



カメラの下側になるねじ穴へ取り付けてください。

4 バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るように、カメラの角度を調整する。

六角レンチでねじをゆるめて、カメラの角度を調整する。(調整後、しっかりと締める)



バンパーまたは車両後端部

- レンズ面には触れないでください。汚れをとる場合には、水を含ませた柔らかい布で拭いてください。(乾いた布で強くこすると、キズの原因になります。)

カメラの視野範囲

